



騎西中だより

令和5年4月号



令和5年度が始まりました。御入学・進級おめでとうございます。騎西中学校校長の小海昭彦です。今年度も、どうぞよろしく申し上げます。私の教育信条は、「学校の主体は子ども」「学校は学ぶところ、成長するところ」です。子どもを中心に据えた、教育活動を進めていきたいと考えています。子どもたちとともにいろいろと学び成長できる学校を目指しています。

さて、学校教育においてよく「不易と流行」という言葉が使われます。変わらないもの・変えてはいけないものと変わるもの・変えるべきものという意味を含んでいます。

「変化」の名言

最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。

チャールズ・ダーウィン

絶えず変化を求めると不満足こそが進歩するために最初に必要となるものである。

トーマス・エジソン

あなたがこの世で見たいと願う変化に、あなた自身がなりなさい。

ガンジー

変化に心地よい場所はあった方がいい。たまに、心地悪い場所へ行くといい。そんな環境の変化は、時に成長を促進する。

永里優季

同じままでいるよりも人生は変化があった方が面白い。

大坂なおみ

「継続」の名言

続けることが大事なのではなく「続けられる方法でやるのが大事なのだ」と思っています

原口證（技術者）

行動を起こすから、その先に何か生まれる。変化は突然ではなく小さな努力の積み重ねから生まれるんです

野口健（アルピニスト）

継続するということは、同じことの繰り返しではなく、成長し続けること

伊達公子

がんばってくだびれちゃいけません。くだびれないようにがんばらなきゃ

永六輔（放送作家）

まずは3日続けてみる。3日続いたら3週間、3週間の次は3ヵ月、3年っていいながら僕は止めずにきました

斎藤工

コロナ感染症の影響でこの3年間、世の中が大きく変化しました。学校教育もその影響を大きく受け、その中で変わったもの・変わらなかったものがありました。しかし、ここにきてまた、状況が変わりました。そこで、令和5年度の騎西中学校の教育活動は、変えてはいけないものと変えるべきものをよく吟味し、「変化と継続」をキーワードとして進めていきます。御支援・御協力のほどよろしくお願いいたします。

入学式 式辞より

1年生に「2つの大切にしてほしいこと」

まず、一つ目は、「自分が」を大切にしてください。これから皆さんは中学校での3年間の生活の中で、様々なことを学び体験していくことになります。そのすべてに対して「自分が」を大切にしてください。「自分が考える」「自分が判断する」「自分が行う」。時に間違ったり、失敗したりすることもあると思います。でも恥ずかしがることはありません。「自分が」を行っている限りそれは学びであり、失敗や間違いは、皆さんを大きく成長させる貴重な経験になります。「わかる」ことや「できる」ことを一つ一つ積み上げて、学ぶ楽しさや面白さをたくさん感じてください。私たちも皆さんとともに学んでいきたいと思っています。

二つ目は、「相手は」あるいは「みんなは」を大切にしてください。自分勝手なわがままを言ったり、相手やみんなが嫌がることをしたりしては、気持ちの良い学校生活を送ることはできません。自分が楽しくても相手が楽しくなければ結局楽しくなくなるのです。相手の気持ちになって、優しい心遣いをすることが、居心地の良いクラスを創ります。お互いの意見や考えの違いを認め合い、高め合うことで、自分も集団も豊かに成長していけるのです。今日から、新しい友達と支え合って、楽しい中学校生活を送ってください。

1学期 始業式 式辞より

2・3年生に「1つだけ知っておいてもらいたいこと」

大切なスタートにあたり皆さんに、今日は1つだけ知っておいてもらいたいことを話します。それは、今日から3年生は「最上級生」になります。2年生は「先輩」になります。この「最上級生」や「先輩」という言葉ですが、これまでに皆さん自身、誰かに言われたことがあるでしょう。この「最上級生」や「先輩」という言葉ですが、もちろん皆さん自身を指した言葉ですが、それだけの意味では使いません。この言葉を使うときは、必ず、別の意味を含ませて使います。では、どんな意味が含まれているのでしょうか。もうわかっていると思いますが、これらの言葉は「上級生」「下級生」や「後輩」などとセットで使われる言葉です。ですから「最上級生」や「先輩」と言われたときは、当然、自分自身と「下級生」や「後輩」のことも意識しなければいけません。準備登校では、皆さんは見事に「最上級生」であり「先輩」だったと思います。これからもその自覚をお願いしたいと思います。皆さんは「情けは人の為ならず」という言葉を知っていますか。では、「因果応報」という言葉はどうでしょう。どちらも巡りめぐって自分に返ってくるという意味があります。自分の行いがいいことであろうと悪いことであろうと、自分のために行おうと他人のために行おうとその行いに応じたものがすべて自分に返ってくるということです。今日から新しい仲間との生活が始まります。よく知っている人、知らない人、気の合う人、合わない人、自分の周りにはいろいろな人がいます。これは今日に限ったことではありません。これからの人生の中で新しい生活が始まる時には、必ず起こることです。その時に自分が何をを行い、どのように振る舞えば、一人の自立した人間として成長できるのか、考え行動してください。

今の皆さんならば、きっとよりよい選択と判断ができると思います。今後の皆さんの活躍を期待しています。